

審判講習会 参加報告書

平成 27 年 8 月 27 日
報告者 菊池 哲也

この度参加しました、審判講習会について報告します。
なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

講習会名 (大会名)	第 5 3 回 男 子 ・ 第 4 5 回 女 子 全 日 本 教 員 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 選 手 権 大 会 (いわて国体リハーサル大会)
参加者 (報告者)	菊池 哲也
期 日	平成 27 年 8 月 7 日 (金) から 平成 27 年 8 月 9 日 (日)
会 場	奥州市総合体育館・江刺中央体育館(奥州市)・一関市総合体育館・東山総合体育館(一関市)
講 師	岩手県審判委員長 松岡隆博 氏ほか岩手県及び東北ブロック上級審判員
参加者	岩手国体ノミネート候補審判員・東北ブロック上級審判員(近県召集審判員)・ 和歌山県派遣審判員(今年度国体開催県)・愛媛県派遣審判員(次年度教員大会開催県)
報告① 審判会議	日時 8 月 7 日(金) 15 : 00～ 場所 一関文化センター 小ホール 岩手県副審判委員長の司会進行のもと、審判委員長の歓迎の言葉、県協会副会長の挨拶に続き、 審判委員長より先立って行われたチームの代表者会議にて話し合われた大会の注意事項及び 確認事項の説明が行われた。次に、審判割り当ての発表が行われ割当表を全員に配布し各自の 審判会議資料に記入の上、割当は全て回収という形であった。その後、岩手県協会審判委員会 の総務・宿泊・輸送・財務・会場・T.O の各責任者より、諸連絡が行われた。非常に細かい点 まで打合せされていることが、とても印象的であった。

報告② ゲーム	□ゲーム 和歌山教員 対 埼玉教員 主審 菊池哲也 副審 片岡慧祐 コート主任 橘 貴志 氏 ■講習内容 及び ミーティング内容 プレイの最初から終わりまでを捉えようとする姿勢は良かった。 大差のついた時間ゲームであったので、時間と点差を考えて笛を入れずにプレイさせた方がスムーズにゲームが進む場面があったのではないか。
報告③ ゲーム	□ゲーム 山口教員 A 対 静岡教員 主審 菊池哲也 副審 木村健太郎 コート主任 猪股 史貴 氏 ■講習内容 及び ミーティング内容 最初から最後まで緊張感のあるゲームであった。大型選手の飛び込みやシュートに関して、もう少しシビアに判定した方が良かった。プレイをよく見ようとする姿勢はとても感じられたが、少しプレイに近づきすぎる場面が見られた。
所感	今回次年度開催の視察も兼ねて、全国教員大会に初めて参加させて頂きました。翌年に国体を控えたリハーサル大会ということもあり、岩手県協会の細部にまで打合せされた運営計画と行き届いた気配り・心配りにとても感銘を受け、来年に開催を控えた愛媛県としても負けないように準備を進めていかなければならないと強く感じました。全国大会のコートに立つという面でも、自分自身も含めて審判技術のさらなるレベルアップが必要だと痛感しました。 また、会場設営や控室等の準備においても、県協会の力だけではなく行政との打合せや協力が、様々な部分で必要になってくるのだと感じました。来年度の愛媛大会では、3市町に跨って運営しなければいけないため、今よりもさらに県内審判員やバスケットボール関係者の方々の緊密な連携と協力が不可欠だと思います。来年度の全国教員大会、さらに2年後の愛媛国体が成功しますように、これからも準備に一層力を入れていきたいと思っています。 最後になりましたが、今回の大会に参加するに当たり暖かく迎えて頂き様々な面で心配りを頂いた岩手県協会の皆様および東北ブロックの皆様、またこのような大会に参加させて頂くチャンス頂いた愛媛県協会の全ての関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。微力ですが、来年度の愛媛大会、さらには愛媛国体に向けて審判員としても運営スタッフとしても尽力していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

奥州市総合体育館



会場入口(奥州市総合体育館)



控室の様子(奥州市総合体育館)



コート(奥州市総合体育館)



コート(一関市総合体育館)



オフィシャルズテーブル①(一関市総合体育館)



オフィシャルズテーブル②(一関市総合体育館)



審判員用シャトルバス



